

お知らせ 参加者募集

「老齡長期ケア国際シンポジウム 上海 2012年9月9日日曜日～12日水曜日」

「老齡長期ケアは、中国国内で注目されている問題であり、施設建設、人材育成サービスの提供、保険制度設計等は注目の焦点になっている。先進国は人口高齢化で長期ケアの模索は我々より早く大きな成果を収めている。その中、特に高齢化が深刻な日本とドイツに、老齡長期ケア問題の解決に向けて多くの経験を学ぶべきである。」(シンポジウムチラシより引用)という目的で、当研究所も関わる福岡アジア高齢社会デザイン協議会が上海で、現地シンクタンク等と共催するものです。場所は上海ですがご興味、ご関心のある方のご参加をお待ちしています。

マスコミでみるURCの今 - 最近1ヶ月の情報を中心に -

新聞

- 2012.7.23 **日本経済新聞 朝刊 40p**
交友抄 有言実行の市政/橋田紘一
当研究所の橋田紘一会長が蒲島郁夫熊本県知事との交遊について執筆
- 2012.7.19 **西日本経済 朝刊 32p**
ハビタット福岡本部長が退任
当研究所の評議員で昨年度まで企画委員をされた野田順康さんがハビタット福岡本部長を退任
- 2012.7.13 **日本経済新聞 朝刊 40p**
検証 橋下改革と文化 アーツカウンシル 評価・助成、行政から独立
当研究所の企画委員 橋爪紳也さんがアーツカウンシルへの期待を語る。

雑誌

- 2012.7.31 **フォーラム福岡 2012JULY Vol.44: アジアが見つめる「福岡モデル」 5p**
foreword 日本の「福岡」からアジアの「フクオカ」へ 「フクオカ」のグローバルプレゼンス
当研究所の安浦寛人理事長が巻頭言を執筆
- 2012.7.31 **フォーラム福岡 2012JULY Vol.44 アジアが見つめる「福岡モデル」 8～11p**
巻頭インタビュー:前国連ハビタット福岡本部(アジア太平洋担当)本部長 野田順康さんが語る
アジアはじめ海外向けに良好な都市政策や環境技術の普及を促進
当研究所の評議員で昨年度まで企画委員をされた野田順康さんがインタビューを受ける。
- 2012.7.31 **フォーラム福岡 2012JULY Vol.44 アジアが見つめる「福岡モデル」 20～21p**
社会の成熟化に向けた「福岡モデル」群01高齢化70歳現役社会づくり(福岡県)NPOでアクティブ・エイジング(福岡市)
「日本での経験がアジアの共有財産になる」と当研究所の小川全夫副主幹研究員が語る。
「アジアが注目する福岡の先駆的な取り組み」で「高齢者向け介護サービスの概念は、日本が開発した知識と技術で成り立っている」と語る。
- 2012.7.1 **九州マーケティング・アイズ 2012 夏 JULY Vol.62 18～20p アジアと九州の今**
アジア映画のグローバル化?:映画はどうやって手に入れる?、誰が世界を統べているのだ?等
アジアフォーカス・福岡国際映画祭2012について当研究所OB山本公平さんが執筆
- 2012.7 **融 - 融合化時代の都市政策提言誌 - Vol.20:安全都市づくり 10～11p**
逃げ込む都心づくり～防災・減災・耐災～ 当研究所の企画委員 橋爪紳也さんが執筆

所員雑感～勤続25周年を迎えて～ドイツ・バイエルン地方への旅 3

(公財)福岡アジア都市研究所 研究主査 益田 千佳

次のヴェルツブルクではまずマリエンベルク要塞から旧市街の素晴らしい眺めを楽しみ、司教の居城だった絢爛豪華なバロック宮殿、世界遺産のレジデンツを見学しました。きらびやかな内部は残念ながら撮影禁止。見学中に身体のだこかが壁に触れたりしないかも厳しくチェックされました。外側の圧倒的な姿をカメラに収めて宮殿を離れました。

夕暮れに差し掛かるころ到着したのは、ライン川沿いのワイン醸造の町、リュースハイム。

小さな酒場や料理店が連なる「つぐみ横丁」は人々が楽しげに集う場所です。ここで私たちも皆で夕食を取りました。旅の参加者は年配の夫婦から幼い子供連れの家族まで、様々な年齢のメンバーながら旅慣れた方々が多く、すっかり打ち解けてまるで親戚同士のような和気あいあいとした雰囲気でした。「つぐみ横丁」でご当地ワインとビールで乾杯!この旅最高に盛り上がり、笑い声が溢れて会話が弾むうち、異国の夜は更けていきました。

翌朝は中部渓流が世界遺産のライン川下りへ出発です。古城や修道院、木組みの家などの中世以来の景観を眺めていると船内に音楽が流れ、ローレライの岩が見えてきました。私たちはこのあとすぐ下船し、ハイデルベルクへ向かいました。



以下、次号へ続く